

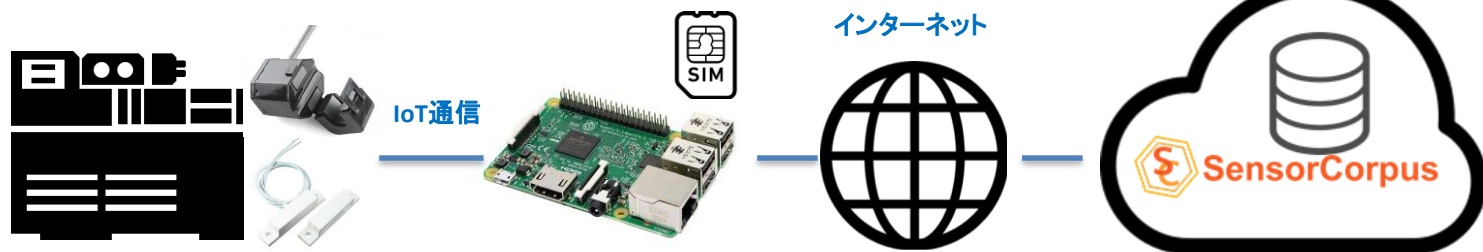
ライン稼働率チェックIoT簡単キット

今まで正確にわからなかった稼働率がすぐにわかる！



- ✓ 新旧様々な機械に、機器を止めることなく取り付け可能！（電流センサーの場合）
- ✓ ユニバーサルIoTプラットフォーム「SensorCorpus」だから、お客様が好きなセンサーを追加したい場合も安価に対応可能。
- ✓ 月額25,000円から利用できる。1ヶ月目の利用料は無料！（交通費、宿泊費などの実費はかかります）

機器への簡単取付でSensorCorpusで可視化



各種センサー+ゲートウェイ（Raspberry Pi）+クラウド
初期導入費用：150,000円、利用料（初月無料）：25,000円

※ 消費税は含まれておりません。※ 通信費及び現地作業に係る交通費、宿泊費は実費にてご請求いたします

「ライン稼働率チェックIoT簡単キット」の特長

機械の稼働状況を自動収集

センサーからの自動収集により今まで人が集計していた無駄を削減
見えなかった機械の稼働状況が分かることで改善ポイントを絞り定める

安価な市販用デバイスを活用

実績のある安価なセンサーやゲートウェイを用いることでシステム構築コストを節約

SensorCorpus のフル機能が利用可能

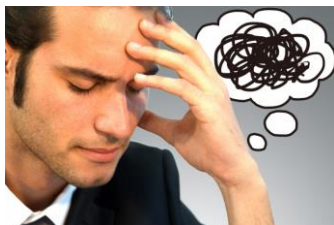
センサーコーパスのフル機能により、閾値設定の変更などお客様自身でチューニングが可能
お客様の好きなセンサーを簡単に追加可能。SensorCorpusだからカスタマイズもリーズナブル
データの可視化、データのCSVダウンロードもできエクセルで分析可能

お問い合わせ：

株式会社インフォコーパス TEL: 03-5734-1830 Email: contact@sensorcorpus.com

ライン稼働率チェックIoT簡単キット

IoTシステムの検討がPoCで躓かないために



IoTは初めてでどこから手を付けていいのかわからない

そもそもどんな情報が自分たちにとって必要なのかわからない

でも PoCだけで終わる（Poc貧乏）のはイヤだ！！

ライン稼働率チェックIoT簡単キットなら安心して導入いただけます

「ライン稼働率チェックIoT簡単キット」の構成内容

センサーは、パターン① or パターン②のどちらかをご選択ください。

※①②両方のご利用をご希望の場合は別途ご相談ください。

パターン①：電流センサー（CTセンサー）



取得データ：電流値
通信：920MHz無線通信
用途：機械の稼働状況モニタリング
(電源ON/OFF、運転モード等)

パターン②：磁気センサー（リードスイッチ）



取得データ：磁気抵抗変化
通信：有線LAN（近日無線対応予定）
用途：ショット数のカウント
生産実績数のカウント等

ゲートウェイ：Raspberry Pi



Raspberry Pi®



クラウド：IoTプラットフォーム「SensorCorpus」



導入の進め方

Step 1.お打合せ



Web会議／オフライン会議、要件、環境等のヒアリング、現地調査

Step 2.詳細御見積



お打合せ内容に基づき1営業日以内（目標）に詳細御見積書を提出

Step 3.導入



ご発注後、現地にて作業およびクラウド側の初期設定作業を実施。

SensorCorpus とは？

業種や目的を限定せず、またセンサーや機械の種類に関係なく、IoTデータの収集・蓄積・活用ができる次世代IoTプラットフォームです。センサーコーパスは、PoCから大規模IoTシステムまで柔軟に拡張することができ、さまざまなアプリケーション（AI/BI等）との連携を通じて、「IoTの大衆化」を実現します。



 SensorCorpus



株式会社インフォコーパスまでお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ：

株式会社インフォコーパス TEL: 03-5734-1830 Email: contact@sensorcorpus.com